

(活動報告書様式)

団体名	堀金地域資源保全隊		
事業名	「里の名水・やまがた百選」館清水を活かした地域の魅力向上プロジェクト		
助成事業区分	協働助成事業（一般型） 【県政課題：湧水を活かした地域づくり活動の促進】		
団体の 所在市町村	東置賜郡川西町	事業費	574,349 円
		うち助成金額	500,000 円



■ 事業目的

地域で守り続けてきた堰や湧水を次世代に確実に受継いでいくために、農業者が農業用水として利用するだけでなく、周辺の住民も一緒に親しみながら、地域の資源として活用していく。

■ 実施内容

米沢市広幡の「館清水」が令和元年度「里の名水・やまがた百選」に選定されたことを契機に、周辺の「八幡清水」「長清水」とあわせ、活用していくため、以下の取り組みを行った。

①湧水を活かした地域の将来構想・実践計画づくり

湧水や堰の歴史背景や生き物などを調査し、その結果を踏まえ、湧水の活用方法や近未来の構想を話し合い(写真①)「夢構想マップ」・「実践計画」を作成した。

実施日:10月29日(木)

参加者:17名

②湧水周辺の環境整備

地域住民で話し合った構想及び実践計画に基づき、周辺

環境整備の実施内容を検討した。令和2年度は3つの湧水に説明看板を設置することとし、デザイン等の話し合いを行った。

実施日:12月5日(土)

参加者:8名

調査や話し合い結果をもとに看板を製作・設置した。(写真②)

実施日:2月28日(日)

③プロジェクトの成果報告

夢構想マップ・実践計画、令和2年度の取り組みについて地域住民に報告した。

実施日:2月28日(日)

※報告会を中止し、資料の配布・回覧により周知

■事業の成果及び今後の展望

①事業の成果

・地域住民があらためて地域資源を見つめなおす機会となり、引き続き保全活動を行うだけでなく、個々人の中で漠然としていた清水の活用方針等について「夢構想マップ」として目に見える形で具体化することで、観光資源として活用していくという新たな方向性が

生まれ、具体的な行動計画ができた。

- ・置賜農業高校生の参画により若者との意見交換や地域を知ってもらえたこと、さらに取り組みへの継続参加も見込めることとなり、今後の世代間交流や新しいアイデア提供などが期待できる。

②今後の展望

- ・今年はコロナ禍のため、参加者をおある程度限定して実施した。今後は、地域住民や子供たちも一緒になって環境整備や、周辺のイベントとの連携などを具体的に進め、周遊マップなども作成して観光資源としてPRしていきたい。
- ・やまがたの農山漁村づくり情報誌や土地改良区の広報誌・ホームページなどを活用して、取り組みの状況や成果、湧水をはじめ地域資源の魅力を広く発信し、地域との関係人口の増加につなげていきたい。